

(第2号様式)

前原第 3045 号
令和5年 3月24日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立前原高等学校
校長 宮城 敏也
(公印省略)

令和4年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和5年2月10日付け教県第1995号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

回数	日時	場所	出席状況
第1回	7月20日(水) 16:00~	本校会議室	4名出席
第2回	12月15日(水) 16:00~	本校会議室	3名出席
第3回	3月23日(木) 16:00~	本校会議室	4名出席

2 学校評議員に求めた事項

- ①学校経営、教育活動に関すること
- ②学校に期待すること
- ③進路指導、生徒指導、学校行事について
- ④学校評価について

3 学校評議員の意見

- ・部活動で有能な生徒が辞めたと聞いた、指導面で行き過ぎたところはないか？湛水講演会やお仕事カーニバルをより工夫して取り組めないか？
- ・クーラーの状況はどうか？0校時の持ち方はどうなってますか？部活加入率の低下も心配である。
- ・英語コースに限らず、全ての生徒が語学に触れる機会を増やしてほしい。
- ・進路の就学支援制度について、社協からの貸し付けなどは？
- ・インターンシップの様子はどのようになっているか
- ・国際理解教育校として、期待する

4 学校運営に反映した事項

- ・クーラーはちゃんと稼働しているが、教室によって冷え方にバラツキがある。電気料のコスト削減にも努めている。扇風機や窓の遮光、体育着登校等の工夫をおこなっている。
- ・湛水講演会はより複数の講師の方からお話を伺えるよう、2回に分けて実施し、充実した内容となった。
- ・インターンシップは、コロナ等の関連から企業から断られ参加できない生徒もあったが、300名以上は参加できている。次年度のインターンシップは探究活動に代えて、その中で企業訪問活動を行う予定。

5 課題その他

- ・校区制が無くなってから、厳しい時代もあったと思うが、その中で良い学校を築いてくれて感謝している。スクリレの導入によって開かれた学校に繋がってると思う。
- ・うるま市主催の安慶名城址イベントにて本校男子ソフト部ボランティア活動があった。生徒が率先して地域の活動に参加してもらいたい。
- ・自律を促す生徒指導はすばらしい